

授業概要

図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービスをはじめとする情報サービスの手法とその考え方の理解を目指して講義します。

おおむねテキストに沿って進行します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	コンピュータとネットワーク ― デジタルとアナログ ―
第3回	コンピュータとネットワーク ― コンピュータの仕組みと動作 ―
第4回	コンピュータとネットワーク ― ネットワークの仕組みと動作 ―
第5回	コンピュータとネットワーク ― デジタルによるコミュニケーション ―
第6回	電子テキスト ― 文書、出版、書籍 ―
第7回	データベース ― リレーショナルデータベース、情報検索 ―
第8回	図書館システム ― 概要 ―
第9回	図書館システム ― 各種機能 ―
第10回	図書館システム ― ネットワークによる情報の収集と発信 ―
第11回	ネットワーク情報資源 ― WWW、PDF ―
第12回	ネットワーク情報資源 ― メタデータ、RDF、URI ―
第13回	情報倫理 ― マルウェア、不正侵入、ソーシャルエンジニアリング ―
第14回	情報倫理 ― 個人情報、知的財産権 ―
第15回	まとめ ― これからの図書館と技術発展 ―
第16回	筆記試験

到達目標

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの理解を目指します。

1) コンピュータやLAN など基本的な情報機器の基礎、2) 図書館業務システムの概要と関連技術、3) インターネットの概要とその図書館サービスでの利用、5) 情報化社会と図書館の関係。

履修上の注意

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

「図書館概論」の履修を済ませていることが望まれます。

予習復習

事前にテキストの指定箇所を読んでおいてください。

毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

評価方法

期末テスト(80 点満点・必須)と課題レポート(20 点満点・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への参加など)および自由提出のレポートを加え、すべてを足して 51 点以上を合格とします。

テキスト

(必携) 杉本重雄編. 図書館情報技術論. 樹村房, 2014, 208p., (現代図書館情報学シリーズ, 3), ISBN 978-4-88367-203-5.

(参考) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第 4 版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.

その他授業中に印刷資料を配布します。